

介護業 取組事例①

(所定外労働削減/社員数約120名)

取組の背景：

50歳～60歳代の職員が多く高齢職員の比率が比較的高いため、業務の効率化・IT化を図り残業を削減することにより、職員が無理なく、長く働き続けられる勤務環境づくりを推進する。

取組の概要：

【取組Ⅰ】業務の効率化と新人育成に重点を置いた取組の実施

- ①時間外労働の「許可制」を徹底するとともに、毎週火曜の「ノー残業デー」も実施した。
- ②無線LANタブレットを導入し、介護記録をIT化。機器が苦手な年配者に丁寧に指導し、定着化を図っている。
- ③日勤ないし遅番の職員の急な欠勤に対応するため、「待機職員制度」を実施。相応の待機手当も支給している。
- ④「トレーナー制度」を実施。勤続2～3年の先輩職員が、指導員として入職後3か月間新人を指導する。新人の相談にのりメンターの役割を担う。
- ⑤育児休業に入る職員の代替要員は派遣労働者で補う。
- ⑥育児休業明けの職員をサポートするため、施設内保育所を整備した。